

1. 教育理念

豊かな人間性と確かな技術を持った人材を育成する。

2. 教育目標

- ・ グローバル社会で活躍できるような実践力と柔軟性をもった「社会人力」を育成する。

3. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・ 入国規制緩和後の観光業界のニーズを把握し、企業連携教育に取り組む。
- ・ 日本語や英語をはじめとする語学力や実践力の底上げに取り組む。
- ・ 学生一人ひとりの将来の希望を叶えるべく、キャリア教育に力を入れ、就職率の向上に取り組む。

4. 評価基準

適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
4	3	2	1

5. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
1	教育理念・目的、育成人材像は定められているか	4
2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構造を抱いているか	3
3	学校の理念・目的、特色、育成人材像、将来構想等が学生、関係業界、保護者等に周知されているか	2
4	学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

- 課題
- ・ 学校の理念や特色を学生募集や就職先開拓時に周知し、支持を得ていく。
  - ・ インバウンドが回復しつつある観光業界において、企業や地域社会のニーズを踏まえ、即戦力となり得る人材を育成する。
  - ・ 日本社会において長く活躍しキャリア形成していく基となるカリキュラム編成と実施に取り組む。

(2) 学校運営

	評価項目	評価
1	目的に沿った方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
4	教育活動等に関する規定等は整備されているか	3

(3) 教育活動

	評価項目	評価
1	教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
2	学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	3
3	関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
4	授業評価の実施、評価体制はあるか	2
5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
6	資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2
7	人材育成目標の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
8	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3

- 課題
- ・ 資格取得に向けて学生の学習意欲が維持できるような授業運営の工夫を行う。
  - ・ 効果的な授業運営の工夫を行うため、教員の指導力育成など資質向上のための研修など学びの機会を持つ。
  - ・ 授業評価の体制について実現可能な計画を練り、定期的に行うことができる様、優先順位を上げて対応する。

#### (4) 学修成果

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	2
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- 特記事項
- 入学後の日本語能力試験N2合格者は2名、N3合格者は3名であったが、サービス接遇検定については合格者を出すことができなかった。
  - 2年生8名全員が卒業までに内定を取得し進路決定。また就職後の活躍や評価については企業訪問の上、ヒアリングを実施。一部の学生の活躍についてはパブリシティ記事掲載に繋げた。

- 課題
- 卒業までにN2合格することを目指し、一人ひとり面談の上、学習計画を立てさせ、進行具合を確認し合う。
  - TOEICなどについては資格取得奨励金として受験料を学校負担とする。
  - 日本社会で信用を得て活躍するために精勤や学修成績の大切さを学生に周知する。また、学費の滞納により退学に至ることのない様、アルバイト先や収入状況の定期的な確認を徹底する。

#### (5) 学生支援

	評価項目	評価
1	就職等進路に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	卒業生への支援体制はあるか	4
6	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

- 課題
- 留学生に対しては授業料の減免制度を設けているが、物価高騰の影響を受けており、限られた教育活動費の中で満足度を上げることが課題。
  - 業界のニーズに合った実践的な技能を身に付けるため、実習室の設備・備品の充実を図る。

(6) 教育環境

	評価項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
2	学内外の実習、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3

- 課題
- ・ 実習室については中長期計画に基づき、設備・備品の充実を実行する。
  - ・ アフターコロナにおける観光業界の現場の事情を理解した上で、より満足度が得られるインターンシップ先の開拓とマッチングを図る。
  - ・ 地震、火災、大雨等あらゆる災害を想定した学内での訓練を定期的実施する。

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
1	学生募集は適正に行われているか	3
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3	学納金は妥当なものとなっているか	3

- 課題
- ・ 卒業後の就職先としてホテル・空港・旅行会社といった幅広い選択肢が得られる学科であること、さらにマーケティングや会計学など業界で将来に渡り、キャリア形成し得るカリキュラム編成であることを学生募集活動のなかで周知する。
  - ・ 学納金の額に対して、少人数制で学習・生活・就職支援が手厚く受けられる費用対効果について理解を得る。

(8) 財務

	評価項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるのか	2
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4

- 課題
- ・ コロナ禍による入国規制の影響の時差を受け、今年度は新入生がおらず、2年生のみ在籍。来年度は1年生のみ在籍(学年の定員は充足)となるが、再来年度から1・2年生とも定員充足とすべく募集活動を行っていく。

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

- 特記事項
- ・ 今年度は四日市で開催された東海・北陸B 1 グランプリでは参加団体のメニューの多言語翻訳やポスターの作成、紹介ムービーのYouTube開設など四日市市シティプロモーション部への確認のもとボランティア活動を行った。
- 課題
- ・ 来年度以降の新入生についても観光業界の仕事は地域活性化に繋がる意義あるものであることに気づかせ、学校として活動の機会を探っていく。